

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援センターすきっぴ		
○保護者評価実施期間	2026年1月19日		2026年1月23日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25	(回答者数) 25
○従業者評価実施期間	2026年2月9日		2026年2月13日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数) 13
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月10日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	毎日の丁寧な伝達、面談や保護者実習等の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日の登園・降園時の個別伝達はお子さんを理解していくための身近な機会と位置づけていき、活動の様子だけではなく、保護者からの疑問・質問・相談等のできる身近な機会としています。</li> <li>・学期に1度の個別支援計画に関する面談以外に、「なんでも面談」として、1時間たっぴりの面談を実施しています。</li> <li>・「なんでもノート」を活用し保護者の思いや気がかり、疑問等を支えることを大切にしています。解説を入れた定期的な見学や保護者実習等で支援や子どもの様子を実際に見ていただき、担任との振り返りを行っています。親子通園クラスでは父子通園日を設けています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も真摯に保護者に向き合い、信頼関係を構築していきます。お子さんの良い所だけではなく、更に伸ばしていきたいところ・気がかりなところといった部分についても率直に話し合える関係性を大切にし、お子さんの育ちを前向きに捉え、支えていけるように進めます。</li> <li>・お子さんの発達や現時点での課題について保護者と共有し、適切な捉え方・関わり方等についてアドバイスしていけるよう、専門性の向上に努めます。</li> <li>・職員の支援の質向上のために、今後も様々なテーマで研修の機会を設けていきます。</li> </ul>
2	毎月の親教室の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単独通園、親子通園それぞれテーマを決め、おしゃべりタイム(懇談会)を毎月実施しています。テーマは子どもの発達について、感覚統合について、ADLについて等多岐に設定してきました。</li> <li>・管理栄養士による講義を実施しました。</li> <li>・当園を卒園した「先輩ママの話し」と題した講演を初企画しました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「先輩ママの話し」は好評でした。母親という共通項が共感を呼び、実体験を基にした内容だからこそ、我が子の数年後、親としての数年後をリアルに描いていく機会になったようでした。今後も企画継続したいと考えます。</li> <li>・テーマは事業所からだけではなく、保護者の希望を聞く機会を設けて設定していきます。</li> </ul>
3	運動プログラムの充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入所施設機能(グラウンド遊具、体育館、プール等)を最大限に活かしたプログラム設定が特徴になります。</li> <li>・認知、言語、社会性コミュニケーションといった力・育ちの基盤は、初期感覚・身体機能といった「からだ」にあることを覚え、幼児期の身体作りに療育の力点を置いています。</li> </ul>	<p>毎日通園スタイルでの療育提供をメリットと捉え、運動機会・プログラム内容を子どもの発達・育ちによりフィットしたものと提供できるよう充実を図りたいと考えます。</p>

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	第三者委員の機能について十分に周知ができていませんでした。	どういった機能があるのかなど情報を共有する機会がなかったと考えます。	職員会議といった機会の中で、施設運営に関わってくださっている第三者の働き・機能等について共有できるように進めます。
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 児童発達支援センターすきっぷ

公表日 2026年 3月 31日

利用児童数 27

25 (兄弟姉妹での利用が2家  
回収数 族のため回収率は100%)

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	96%	4%			・校庭、遊具、体育館、プールなど広く ですごいと思います。教室も10人では 十分かと。 ・大人の目が届き、子ども達にとっても 丁度よいスペースだと思います。	子どもたちの身体機能等に応じた活動プ ログラムに適した環境提供、集団療育の メリットを最大限に引き出せる環境作り を引き続き大切にしていきます。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	92%	4%	4%		・手厚いと思います。 ・先生が休まれた場合、人手不足を感じ ます。	クラス担当者が欠席等の場合は、代行職 員を当てて支援に臨んできましたが、足 りなさを感じたという率直なご意見をあ りがとうございます。引き続き、支援の 質向上を心がけていきます。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思 いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や 情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	88%	8%		4%	・バリアフリー（エレベーターなど）に はなっていないが、子どもに分かりやす い環境	現状建物の構造上、エレベーター設置は 難しいですが、引き続き子どもたちが分 かりやすい環境を整えます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。 また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	96%		4%		・いつもきれいな校舎だと思います。 ・先生方が玄関で靴を履き替えずに外へ 出ている。急いでいるのは分かるが。 ・いつも本当にキレイだと思っていま す。とても快適に過ごせています。	職員の靴履き替えに関するご意見をあり がとうございます。このご意見は職員会 議で周知します。
適切 な支 援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援 が受けられていると思いますか。	100%					今後も専門性の向上に努めます。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と 合っていると思いますか。	92%	4%		4%		支援プログラムはホームページで公表さ れています。是非ご確認ください。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分 析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思 いますか。	96%	4%			・親も気付いていない子どもの特性に気 付けてくれて、ありがたいです。	今後も、ニーズや課題等の把握を丁寧に 進めながら、より良い発達支援に向けた 計画を作成していきます。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提 供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支 援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体 的な支援内容が設定されていると思いますか。	96%			4%		「本人支援」「家族支援」「移行支援」 の三項目を設定した計画書を作成し、個 別性に配慮した支援内容を設定していま す。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	96%	4%				今後も一人ひとりのお子さんのアセスメ ントを丁寧にを行い、お子さんを軸にした 計画作成、支援の実践を心掛けていきま す。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いま すか。	92%	4%		4%	・季節に応じて色々活動や製作を考え ていると思います。 ・様々な内容で行っているようで、あり がたく思っています。 ・毎日違った活動プログラムで、子ども 達もあきずに楽しめていると思います。	今後も、お子さんが楽しみながら、いろ いろなことを経験できるよう工夫を心掛 けていきます。
11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと 活動する機会がありますか。	20%	12%	60%	8%	・他所の子とも活動や交流する必要が あるとはあまり思えないので、(いいえ の回答で)良いと思っています。 ・機会はないが、発達段階的に子どもに 負担になると思うので、今は必要ないと思 う。 ・交流する機会があるといいな、と思い ます。 ・無くていいと思います。	ニーズとお子さんの実態とを丁寧に見 ながら進めていきたいテーマになると認識 しています。	
12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等につ いて丁寧な説明がありましたか。	96%	4%			・きちんと時間をかけて細かく説明して いただきました。	入園説明会にて、説明の機会を持ってい ます。	
13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	100%					支援計画について説明する機会は個別面 談形式で持っており、このスタイルは継 続していきます。	

保護者への説明等	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	92%		4%	4%	・父親に向けてはない。 ・親教室があるおかげで知らなかったこと、沢山学ばせてもらっています。	月に1回の頻度で、保護者向けの学習会を開催しています。今後も計画をしています。なお、保護者向けの学習会は事業所利用保護者であればどなたでも出席可能です。是非ご家族の皆様もお誘いください。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	100%				・毎日必ず振り返りがあるので、そこでちゃんと状況を伝えてもらっています。	引き続き共通理解に向けた姿勢を大切にしています。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	100%				・連絡帳やお迎え、面談時等、色々な場面で助言をもらっています。	今後も伝達や面談の機会がお子さんの理解に繋がるよう進めていきます。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	100%				・こちらの思いに寄り添っていただいています。	これからも『共に歩む』姿勢を大切にしています。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	40%	28%	20%	12%	・保護者会やきょうだい交流等今までなかったように思いますが、あるのでしょうか？ ・保護者同士、きょうだい同士の交流は今のところはない。が、必要ないと思います。 ・保護者同士の交流は常にあると思っていますが、きょうだい同士の交流はないと思うのでどちらとも言えません。	・保護者主体の父母の会活動等は組織化されておりません。 ・保護者向けの学習会やクラス懇談会といった機会もありますが、日頃の登園・降園での保護者同士の繋がり・結びつきがとても大事なひと時になっているようにも感じます。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	96%	4%			・いつも対応が早くて本当に助かっています。	定期的な面談を設定するほかに、必要に応じて随時お話しをしています。何かあればいつでもお声がけください。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	100%					話しにくいことや気がかりなこと、じっくりと情報共有したい事柄等を自由に記入いただける「なんでもノート」をご家庭ごとに配布しています。どうぞご利用ください。
非常時等の対応	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	80%	12%	4%	4%	・SNSやアプリなどで発信があると嬉しいかも。「すきっぷだより」いつも楽しく読んでいます。 ・紙で渡してくれるし、その方が良い。 ・通信はマチコミのみで十分だと思います。 ・定期的に写真付きの手紙でその場にはない父にも様子を伝えられて嬉しく思います。	・事業所のお便りを毎月1回発行しています。行事等に関する連絡事項などは、プリント配布や掲示板等を活用しており、必要に応じてマチコミメールで発信しています。 ・自己評価結果がHPに掲載された際はお知らせしています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	96%	4%				個人情報の取り扱いに関しては、契約時のみならず、毎年保護者の移行を確認しています。指導員室には、鍵付き書庫を設置し、個人情報にかかわる資料等はそこへ保管をしています。
	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	92%		8%		・通園児の保護者がインターホンなしで上に行っても何も無い。声くらいかけるべき。	・各種マニュアルは策定されています。 ・保護者入館の際は、インターホン対応を基本としております。確認が十分ではない点については、園内で周知します。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	100%					今後も定期的な訓練を進めていきます。
25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	96%	4%				・複合遊具、砂場は定期的に安全点検を実施しています。 ・遠足等の園外活動の場合は下見に行く等の措置を取り、計画書作成の上実施しています。	
26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	96%		4%			怪我、体調不良といった状況になった際は、電話連絡等を入れています。	

満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	100%			<ul style="list-style-type: none"> <li>・先生の名前も覚えて、クラスの皆の名前も覚えて、とてもビックリしています。</li> <li>・先生方のおかげでのびのびと安心して過ごせています。</li> <li>・先生方の名前を言いつつ、「行く～」と笑顔が多く見られるようになりました。</li> <li>・親、家以外での安心できる場所として本人も認識していると思います。</li> </ul>	引き続き、お子さんが安心・安全を感じながら、持っている力を発揮していけるよう、丁寧な支援を心がけます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	88%	4%	8%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝、走って向かっています。</li> <li>・毎日楽しくプログラムの確認をしたりしています。</li> <li>・家を出る支度をしていると必ず1回は「せんせい？」と聞いてくるので楽しみにしているんだな、と感じています。</li> </ul>	今後も通所を楽しみにしてもらえよう、支援の質の向上を心掛けます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	84%	8%	8%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・知り合いのお子さんが通う園ではアプリで休みの連絡や、1日の写真が見れたりするので、そういうのがあると、もっともっと嬉しいです。</li> <li>・親子で満足しています。入園できて本当に良かったです。</li> <li>・子どもの成長を見ると本当に感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございます。</li> <li>・先生たちの支援には満足しています。当欠の実費など事業所としては小さな子どもたちも含めた支援なのに、配慮が足りないと思います。</li> <li>・大満足で感謝ばかりです。ここに入園して毎日通えてよかったなと思っています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後もお子さんにとって、ご家族にとって、より良い支援を求めていきます。</li> <li>・欠席連絡等のアプリの導入については、事業所としても課題であると認識しております。</li> <li>・当日欠席時の食費実費につきましては、契約書・重要事項説明書に沿った対応になりますので、ご理解いただけますと幸いです。</li> </ul>

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援センターすきっぷ				公表日	2026年 3月 31日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%		・子どもの活動に必要な面積基準はクリアしているが、大人が多くなると狭いという課題はあります。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%	0%	・状況や必要に応じたサポート体制に配慮しています。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	85%	15%	現状の建物環境では幼児用便器の設置が難しいため、排泄トレーニングを開始する発達ステージを考慮したときに、あるいは、家庭生活に直結させていくという意図をもって、補助便座を使用していく方針で対応しています。	・階段が高く上りづらい、トイレが子供用ではない等のハード面の課題はあるが、子どもの高さの手すりを設置したり、イラストを活用して対応しています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	過剰な刺激に繋がらないような調整や環境に配慮するだけでなく、季節感を伝える・温かみを伝えるといった環境設定を心掛けています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%	個性やプログラム内容に配慮し、活動に適した工夫をしています。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	100%	0%	毎日、支援後にクラスごとの振り返りを実施しています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	年1回の評価を実施し、結果はHPに公開しています。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	・毎日のミーティングで業務に関する意見、改善工夫に向けた具体的な意見等を話題に上げ、業務改善に繋げています。 ・月一回、係長や課長、管理者も含めて話し合いを行っています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	77%	23%		第三者評価は実施していませんが、今回の自己評価を活用して、業務改善に務めます。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	・月に1回事業所独自の研修を実施するほか、弘済学園全体の研修の機会も設けています。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%	支援プログラムはホームページで公表しています。それを踏まえたクラス別月案も事業所内に掲示しています。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	月に1度の頻度でクラス内ミーティングを持ち、現状の把握・ニーズの把握等をしたうえで作成しています。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	月に1度の頻度でクラス内ミーティングを持ち、現状の把握・ニーズの把握等をしたうえで作成しています。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	計画作成後はクラス内で共有し、狙いに沿った支援提供を心がけています。		

適切な支援の提供	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%	0%	年度末に、次年度の支援に向けてフォーマルアセスメント（遠城寺式・乳幼児分析的発達検査表を用いて）を実施し、お子さんの発達や適応についてアセスメントしています。併せて、必要に応じて随時、太田ステージ評価を実施し、支援に活かしています。また、支援後の振り返り実施をインフォーマルなアセスメント機会として捉えて丁寧に進め、月に1回のミーティング機会では、管理者・児発管等も含めてその内容を共有しています。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	「発達支援」「家族支援」「移行支援」についての支援内容を詳細に設定しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	支援後の振り返りを進め、プログラム立案に活かしながらクラスチームで進めています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	子ども、及びクラスとしてのアセスメントをしながら、発達に応じた適切な活動の提供を心掛けています。プログラム場面によっては、深度化を図ることを目的に、固定したプログラム展開も選択しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	個と全体、静と動、それぞれを適正にアセスメントしたうえで、最適な計画を作成することを心掛けています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	毎朝、支援開始前には全クラス合同での打ち合わせを実施しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%	支援後の振り返りは毎日実施しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	毎日の支援は記録し、子供の振り返り、見立て等でも活かしています。	
23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	月に1度の頻度でクラス担任、児発管、管理者の同席のもとお子さんの現状確認を進めています。		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	子どもの情報提供・確認の際は、その機会に最適な職員が介するように対応しています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	92%	8%	市内の児童発達支援連絡会に出席し、障害福祉領域、母子保健領域とのつながりを持っています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	85%	15%	市の居住地交流制度を希望する際には、連携をとって進めています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	就学前にはお子さんの様子を見学してもらう機会を持ち、あわせて情報共有の機会も持っています。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	100%	0%	・センターとして障害児通所支援事業所連絡会開催を担い、連絡会運営・研修企画等を進めています。 ・保育所巡回相談、幼稚園巡回相談に職員を派遣しています。	
29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外泊研修に参加させているか。	100%	0%	・「幼児及び障がい児の接触嚥下機能発達に関する研修会」に出席しました。 ・桑野市保育の日のつどい実行委員会が主催する遊びの研修会に出席しました。 ・神奈川県が主催する早期療育普及研修に出席しました。		

関係機関や保護者との連携	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	100%	0%	子ども部門に出席をしています。	
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	15%	85%		具体的な機会は設定はしていません。事業所としては、障害特性等を勘案し、子どもの発達過程において交流等の必要が確認されたところで積極的に考えたいと判断します。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	登降園時の伝達機会を大切にしています。課題共有等も具体的にし、一緒に考える視点を持って対応することを心掛けています。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100%	0%	月ごとに保護者対象の学び会を実施し、クラス懇談会は学期ごとに設定しています。		
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	入園説明会にて説明する機会を持っています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	毎日の伝達機会の中で、保護者の考え・思い等に触れ、保護者の「今」に合わせた視点を心がけています。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	個別支援計画の説明の際は、個別に面談機会を持ち、同意を得ています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	登降園の場面での伝達・報告等の機会は相談等の機会にもなっていると認識しています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	92%	8%	保護者主体の父母の会は組織されていませんが、事業所主体の懇談会等の機会は設けています。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	必要に応じ別途面談の場を設ける等の対応もとっています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	月に1度の頻度でお便りを発行しています。マチコミメールを利用し、園体制等の情報はタイムリーに発信しています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	契約時、その後は年1回(年度初め)個人情報の取り扱いに関する確認を取り交わし、管理運営しています。	
非常時等の対応	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	子どもとのコミュニケーションは、言葉だけではなく、絵、写真、文字等のツールを用いながら、一人ひとりにあった対応を心掛けています。保護者との間では、登降園の時間を中心にその機会を設定しています。外国籍の方に対しては、必要に応じて翻訳ツールを利用しています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	77%	23%	「ひなた祭り」を開催し、地域の方に向けた行事として定着しています。	
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	各マニュアルを策定し、保護者に向けては、「児童発達支援でのさまざまな安全に関する対応・対策について」といった冊子を配布しています。災害の発生を想定した引き渡し訓練を実施しています。	
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	業務事業計画(BCP)を策定しています。防災に関する訓練も定期的実施しています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	入園前の聞き取り面接にて、体調、医療関連の情報を確認する機会を持っています。	

非常時等の対応	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	82%	18%	今年度該当児はいません。該当児の入園の際は、その対応を取っていきます。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	安全計画を作成し、安全管理の下で支援を展開しています。
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%	0%	保護者に向けては、「児童発達支援でのさまざまな安全に関する対応・対策について」といった冊子を配布しています。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	安全・衛生管理委員会が園全体の事例を月ごとに集約し、事業所全職員が情報共有しています。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	人権擁護・虐待防止委員会による研修を毎月実施しています。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100%	0%	今年度該当児はいません。やむを得ず身体拘束を実施する場合は、身体拘束適正化検討委員会が持たれ、身体拘束の必要性等について組織的に審議したうえで保護者の了解を得る動きになっています。